



安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : 酸性染料インク3 ブルー
製品コード : DHFC002

供給者の会社名称: コニカミノルタ株式会社
住所: 〒100-7015 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号
担当部門: プロフェッショナルプリント事業本部 産業印刷事業部 テキスタイル事業推進部
(TEL:042-660-7648,FAX:042-660-9825)
緊急連絡電話番号: 公益財団法人 日本中毒情報センター
(事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る)
中毒110番 一般市民専用電話
(大阪) 072-727-2499(情報料無料) 365日 24時間対応(つくば) 029-852-9999(情報料無料) 365日 24時間対応

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

印刷インキ; 印刷用インク関連物質; Colorant

製品タイプ : 液体
発行日/改訂版の日付 : 2025年1月8日
前作成日 : 未確認

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 眼に対する重篤な損傷 - 区分1
皮膚感作性 - 区分1
生殖毒性 - 区分2
特定標的臓器毒性(反復ばく露) - 区分1

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
重篤な眼の損傷
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(腎臓、肝臓)

注意書き

安全対策

: 使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。保護手袋、保護衣及び保護眼鏡又は保護面を着用すること。蒸気を吸入しないこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱い後はよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

応急措置

: ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察又は手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察又は手当てを受けること。眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。ただちに医師に連絡すること。

保管

: 施錠して保管すること。

2. 危険有害性の要約

廃棄 : 内容物及び容器を市町村条例、都道府県条例、国内法令及び国際条約の規定に従って廃棄すること。

その他の危険有害性 : 認知済みのものは無し。

追加情報 : 該当しない

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物

化学名又は一般名	含有量(%)	CAS登録番号	化審法既存及び新規公示化学物質	労働安全衛生法
ジエチレングリコール trisodium 1-amino-4-[[3-[[4-chloro-6-[(sulphonatophenyl)amino]-1,3,5-triazin-2-yl]amino]-2,4,6-trimethyl-5-sulphonatophenyl]amino]-9,10-dihydro-9,10-dioxoanthracene-2-sulphonate トリエタノールアミン 2-メチル-1, 2-チアゾール-3 (2H) -オンと 5-クロロ-2-メチル-1, 2-チアゾール-3 (2H) -オンの混合物	20 - 30 10 - 20 <0.1 <0.0015	111-46-6 72214-18-7 102-71-6 55965-84-9	2-415 情報なし。 2-308; 2-353 5-5235; 9-378	(2)-415 情報なし。 (2)-308 (5)-5235 & (9) -378

供給者の現在有する知識範囲と該当する濃度において、健康または環境に対して危険有害性があると分類されるために、このセクションで報告が義務づけられている追加成分は含まれておりません。

職業曝露限界値の設定がある場合は、第8章に記載。

4. 応急措置

必要な応急処置の説明

- 眼に入った場合** : コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。直ちに眼瞼を広げながら流水で15分以上洗眼する。医師の診断を受ける。
- 吸入した場合** : 新鮮な空気のある場所に移動させる。被災者を暖かく安静にしておく。呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。
- 皮膚に付着した場合** : 汚染された衣服および靴を脱がせる。皮膚を石鹸と水で洗浄するか、または認定された皮膚洗浄剤を使用する。溶剤またはシンナーを使用してはならない。
- 飲み込んだ場合** : 飲み込んだ場合、直ちに医師の診断を受ける。医師に容器あるいはラベルを見せる。被災者を暖かく安静にしておく。嘔吐を誘発させてはならない。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

予想される急性健康影響

- 眼に入った場合** : 重篤な眼の損傷
- 吸入した場合** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 皮膚に付着した場合** : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- 飲み込んだ場合** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

短期的にばく露した場合の徴候症状

- 予想される遅発性影響** : 情報なし。

過剰にばく露した場合の徴候症状

- 眼に入った場合** : 有害症状には以下の症状が含まれる:
痛み
流涙
充血
- 吸入した場合** : 有害症状には以下の症状が含まれる:
胎児体重の減少
子宮内胎児死亡の増加
骨格の変形

4. 応急措置

- 皮膚に付着した場合** : 有害症状には以下の症状が含まれる:
 痛み及び刺激
 充血
 水ぶくれになることがある
 胎児体重の減少
 子宮内胎児死亡の増加
 骨格の変形
- 飲み込んだ場合** : 有害症状には以下の症状が含まれる:
 胃痛
 胎児体重の減少
 子宮内胎児死亡の増加
 骨格の変形

必要に応じた速やかな医師の手当てと必要とされる特別な処置

- 応急処置をする者の保護** : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。
- 医師に対する特別な注意事項** : 火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。
- 特定の治療法** : 特定の治療法はない。

有害性情報を参照(セクション11)

5. 火災時の措置

消火剤

- 適切な消火剤** : 粉末化学消火剤、炭酸ガス、水噴霧、泡消火剤を使用します。
- 使ってはならない消火剤** : ウォータージェットを使用してはならない。

特有の危険有害性 : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。

- 有害な熱分解生成物** : 分解生成物には以下の物質が含まれることがある:
 二酸化炭素
 一酸化炭素
 窒素酸化物
 硫黄酸化物類
 ハロゲン化合物
 金属酸化物

特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- 非緊急時対応要員について** : 蒸気やミストを呼吸しない。セクション7および8に記載された保護手段を参照。
- 緊急時対応要員について** : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 少量に流出した場合** : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

6. 漏出時の措置

- 大量に流出した場合** : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。放出現場には風上から近づくこと。下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。漏出物を廃水処理施設に洗い流すか、または以下の指示に従う。本製品がこぼれたら、砂、土、バーミキュライト、珪藻土等の非可燃性の吸収剤でこぼれを封じ込めた後、容器に集め、現地法に基づき廃棄する(セクション13を参照)。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。漏出物を吸い取った吸収剤は、漏出した製品と同じ危険性を引き起こすことがある。注意：緊急時連絡情報については第1章を、廃棄処理については第13章を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

- 安全取扱注意事項** : 眼、皮膚および衣類に触れないようにする。蒸気やミストを呼吸しない。当物質の通常の手扱い中に呼吸器官への有害危険性が存在する場合は、必ず適切な換気装置を使用するか、あるいは適切な呼吸用保護具を着用する。適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。労働に関する諸法律に定められている衛生安全基準を厳守する。
- 衛生対策** : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。
- 安全な保管条件** : 以下の温度範囲で保管する：5 - 35 °C。現地の法規制に従って保管する。換気の良い乾燥した冷所で保管する。熱および直射日光を避けて保管する。容器を密閉しておくこと。無許可の立ち入りを禁じること。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。容器を再利用してはならない。非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

- ばく露限界**
なし。

設備対策

- : ユーザーの作業により粉塵、ヒューム、ガス、蒸気またはミストが発生する場合は、作業行程の囲い込み、局所的排気通風装置あるいはその他の技術的制御により、作業者の空中に浮遊している汚染物質への暴露を全ての推奨値あるいは法定限度以下に保つこと。

環境暴露管理

- : 換気装置及び作業工程装置からの排出物を検査し、環境保護の法律規制の要件に適合していることを確認しなければならない。場合によっては排出物を許容レベル以下に下げのために煙霧清浄機やフィルター、あるいは工程装置の技術的改良が必要になることもある。

保護具

衛生対策

- : 化学製品の取り扱い後は、食事、喫煙、およびトイレの使用前、さらに作業時間の最後に、両手、両腕の肘から手首までの部分、また顔を十分に洗う。汚染された可能性のある衣類を取り除く際には、適切な技術を用いる。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。汚染された衣類は、再着用の前に洗濯する。作業場所の近くに洗眼スタンドと安全シャワーが設置されていることを確認する。

呼吸用保護具

- : 換気が不十分な場合は呼吸用保護具を着用すること。使用する呼吸保護具は、既知もしくは予測される暴露量、製品の危険有害性、選択される呼吸保護具の安全作動限度に基づいて選択しなければならない。リスク評価により必要性が示されたときは、承認された基準に合格した、身体に良く合った空気清浄機能付きまたは給気式の呼吸保護具を使用する。

手の保護具

- : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。手袋製造業者により特定されたパラメータを考慮して、手袋の使用中に手袋がまだ保護性を維持しているかを確認すること。あらゆる手袋の材料は製造業者が異なれば透過時間も異なる可能性があることに注意する必要がある。いくつかの物質から成る混合物の場合には、手袋の保護時間を正確に推定することはできない。

保護眼鏡/保護面

- : リスク評価によって必要とされるときは、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない：化学物質用飛沫防止ゴーグルおよび/またはフェイスシールド 吸入危険有害性が存在する場合には、代わりにフルフェイス呼吸保護具が必要な場合もある。

皮膚及び身体保護具

身体保護具

- : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならない。さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。

その他の皮膚保護具

- : この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理状態	: 液体
色	: 青。
臭い	: 特異臭。
臭いのしきい値	: 該当しない
pH	: 7 から 9
融点	: 情報なし。
沸点	: 確認済み最低値: 100°C (212°F)
引火点	: >100°C
VOC	: 0含有量(%)
燃焼点	: 情報なし。
蒸発速度	: 確認済み最高値: <1 (水) 加重平均: 0.6比較する 酢酸ブチル
可燃性(固体、気体)	: 情報なし。
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	: 試験されていない

蒸気圧	: 情報なし。
蒸気密度	: 試験されていない
相対密度	: 試験されていない
溶解度	: 試験されていない
水への溶解度	: 情報なし。
n-オクタノール／水分配係数	: 該当しない

自然発火点	: 229°C (444.2°F) (2,2'-oxybisethanol (111-46-6))
分解温度	: 情報なし。
粘度	: 情報なし。
流出時間(ISO 2431)	: 情報なし。

10. 安定性及び反応性

反応性	: この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
化学的安定性	: 製品は安定である。
危険有害反応可能性	: 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	: 高温にさらされると危険有害性の分解生成物を生じることがある。
混触危険物質	: 強力な発熱反応を避けるため、以下の物質から隔離する: 酸化剤、強アルカリ、強酸。
危険有害な分解生成物	: 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

有害性情報

急性毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	投与量	ばく露時間
ジエチレングリコール	LD50 経皮 LD50 経口 LD50 経口	ウサギ ラット ラット	11890 mg/kg 1120 mg/kg 53 mg/kg	－ － －
reaction mass of 5-chloro-2-methyl-2H-isothiazol-3-one and 2-methyl-2H-isothiazol-3-one (3:1) (55965-84-9)				

11. 有害性情報

結論/要約 : 分類を行うために使用する手順: 算出方法.

刺激性/腐食性

製品 / 成分の名称	結果	種類	ばく露時間	観察
トリエタノールアミン	眼 - 軽度の刺激 眼 - 強度の刺激 皮膚 - 軽度の刺激 皮膚 - 軽度の刺激 皮膚 - 強度の刺激	ウサギ ウサギ ヒト ウサギ マウス	10 mg 20 mg 72 分 15 mg l 24 時間 560 mg 50 %	- - - - -

感作性

本品については試験していない。

変異原性

本品については試験していない。

結論/要約 : 分類を行うために使用する手順: 算出方法.

発がん性

本品については試験していない。

結論/要約 : 分類を行うために使用する手順: 算出方法.

生殖毒性

本品については試験していない。

結論/要約 : 分類を行うために使用する手順: 算出方法.

催奇形性

本品については試験していない。

結論/要約 : 分類を行うために使用する手順: 算出方法.

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

名称	カテゴリー	暴露経路	標的器官
トリエタノールアミン	区分3	-	気道刺激性

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

名称	カテゴリー	暴露経路	標的器官
ジエチレングリコール	区分1	-	腎臓、肝臓

誤えん有害性

情報なし。

可能性のある暴露経路についての情報 : 情報なし。

予想される急性健康影響

- 眼に入った場合 : 重篤な眼の損傷
- 吸入した場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 皮膚に付着した場合 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- 飲み込んだ場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

物理的・化学的および毒物学的な特性に関連する症状

- 眼に入った場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:
痛み
流涙
充血
- 吸入した場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:
胎児体重の減少
子宮内胎児死亡の増加
骨格の変形

11. 有害性情報

- 皮膚に付着した場合** : 有害症状には以下の症状が含まれる:
 痛み及び刺激
 充血
 水ぶくれになることがある
 胎児体重の減少
 子宮内胎児死亡の増加
 骨格の変形
- 飲み込んだ場合** : 有害症状には以下の症状が含まれる:
 胃痛
 胎児体重の減少
 子宮内胎児死亡の増加
 骨格の変形

遅発性および即時性の影響ならびに短期および長期の暴露による慢性的な影響

短期的にばく露した場合の徴候症状

- 潜在的な即時性作用** : 情報なし。
予想される遅発性影響 : 情報なし。

長期暴露

- 潜在的な即時性作用** : 情報なし。
予想される遅発性影響 : 情報なし。

健康への慢性効果の可能性

情報なし。

- 概要** : 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害、一度感作されると、それ以後非常に低濃度にも暴露しても重度のアレルギー反応を起こすことがある。
- 発がん性** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 変異原性** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 催奇形性** : 胎児に障害を与える疑い。
- 発育への影響** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 生殖能力に対する影響** : 生殖能に障害を与える疑い。

毒性の数値化

急性毒性の推定

情報なし。

12. 環境影響情報

毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	ばく露時間
ジエチレングリコール トリエタノールアミン reaction mass of 5-chloro- 2-methyl-2H-isothiazol- 3-one and 2-methyl-2H- isothiazol-3-one (3:1) (55965-84-9)	急性 LC50 75200000 µg/l 真水	魚類 - Pimephales promelas	96 時間
	急性 EC50 609.98 から 658.3 mg/l 真水	ミジンコ類 - Ceriodaphnia dubia - Neonate	48 時間
	急性 LC50 >100000 µg/l 海水	甲殻類 - Crangon crangon - Adult	48 時間
	急性 LC50 11800000 から 13000000 µg/l 真水	魚類 - Pimephales promelas	96 時間
	EC50 3.23 mg/l	藻類	72 時間
	EC50 6.67 mg/l	ミジンコ類	48 時間
	EC50 14.6 mg/l	魚類	96 時間

- 結論/要約** : 分類を行うために使用する手順: 算出方法。

残留性・分解性

本品については試験していない。

12. 環境影響情報

結論/要約 : 分類を行うために使用する手順: 算出方法.

生体蓄積性

製品 / 成分の名称	LogP _{ow}	BCF	可能性
ジエチレングリコール トリエタノールアミン reaction mass of 5-chloro- 2-methyl-2H-isothiazol- 3-one and 2-methyl-2H- isothiazol-3-one (3:1) (55965-84-9)	-1.98 -1 -0.71 から 0.75	- - -	低 低 低

土壤中の移動性

土壌/水分配係数(K_{oc}) : 情報なし。
移動性 : 情報なし。

オゾン層への有害性 : 該当しない

他の有害影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。清掃または洗浄されていない空容器を取り扱う際には注意しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

	日本	UN	IMDG	IATA
UN番号	規定なし。	規定なし。	規定なし。	規定なし。
品名	規定なし。	規定なし。	規定なし。	規定なし。
国連分類 クラス	規定なし。	規定なし。	規定なし。	規定なし。
容器等級	-	-	-	-
環境有害性	該当せず。	該当せず。	該当せず。	該当せず。
追加情報	-	-	-	-

使用者のための特別な予防措置 : 使用者の施設内での輸送: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : 情報なし。

15. 適用法令

消防法

カテゴリー	物質名／種類	注意喚起語
指定可燃物	可燃性液体類	非該当

消防活動阻害物質：非該当

指定可燃物：情報なし。指定数量：情報なし。

船舶安全法

船舶による危険物の運送基準等を定める告示

非該当

容器等級

非該当

労働安全衛生法

特定化学物質障害予防規則

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

化学名又は一般名	含有量(%)	状況	整理番号
トリエタノールアミン	<0.1	該当	381

発がん性物質

非該当

変異原性物質

非該当

腐食性液体：非該当

労働安全衛生法施行令 別表 第一 危険物

鉛中毒予防規則：非該当

四アルキル鉛中毒予防規則：非該当

製造の許可を受けるべき有害物：非該当

製造等が禁止される有害物等：非該当

労働安全衛生法施行令 別表 第一 危険物

有機溶剤中毒予防規則：該当しない

化学物質審査規制法

化学名又は一般名	含有量(%)	状況	整理番号
トリエタノールアミン	<0.1	優先評価化学物質	108
エチレングリコール	<0.1	優先評価化学物質	105
アセトアルデヒド	<0.1	優先評価化学物質	26
ヒドラジン	<0.1	優先評価化学物質	2

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

日本産業衛生学会 発がん性物質

: 非該当

海洋汚染防止法

: 情報なし。

道路法

: 情報なし。

特別管理産業廃棄物

: 非該当

16. その他の情報

履歴

印刷日

: 1/9/2025

発行日/改訂版の日付

: 2025年1月8日

前作成日

: 未確認

バージョン

: 1

分類を行うために使用する手順

分類	由来
眼に対する重篤な損傷 - 区分1 皮膚感作性 - 区分1 生殖毒性 - 区分2 特定標的臓器毒性(反復ばく露) - 区分1	算出方法 算出方法 算出方法 算出方法

参照

: 情報なし。

前バージョンから変更された情報を指摘する。

注意事項

このSDSに記載の情報は、現在の当社の知識および現行法に基づくものです。製品を使用するときは最初に書面による取扱説明書を入手し、セクション1に規定された用途以外の目的には使用しないでください。現地法に規定された要件を遵守するために必要なすべての手順を踏むことは、常に使用者の責任です。このSDSに記載する情報は当社製品の安全要件を説明しようとするものです。本製品の特性を保証するものではありません。